

2015年1月5日

2015年 新年あいさつ
グループの総合力で安定的な成長を

NS ユナイテッド海運株式会社
代表取締役社長 小島 徹

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

年末年始の長い休暇も終わり、今日は仕事始めの日です。年頭にあたり、私から皆さんにごあいさつさせていただきます。

まず私の思いとしては、今年 2015 年を当社にとって、そして皆さんにとって、より良い年にしたいと考えています。ここ数年来、海運マーケットは低いレベルで推移しています。昨年も期待したレベルには上がりませんでした。今年こそという期待はありますが、低迷することも心半分覚悟しておかなければなりません。ただ、そうした環境の中でも、あるいはより悪い環境の中でも、当社が力強く収益をあげ、安定的に成長していけるという力を見せられる年に、是非したいと思っています。

皆さんの努力に感謝

昨年当社は、2014 年度から始まる中期経営計画を発表いたしました。数値目標としては、連結ベースで 2016 年度に売上 1,800 億円、営業利益 100 億円、経常利益 83 億円を達成し、2018 年度には売上 2,000 億円、営業利益 120 億円、経常利益 100 億円を目指そうというものであります。

初年度である 2014 年度上期の決算数値は、皆さんご存じのとおり売上が 800 億円弱、経常利益は 60 億円でした。年度通じては 1,600 億円の売上、104 億円の経常利益を予測しています。中期経営計画における前提条件と足元では、為替やバンカー価格の違いもあり、単純に比較はできませんが、初年度としては良いスタートを切れていると考えています。

安全・安定運航に加え、コスト削減、適切なタイミングでの船の出し入れ、バラスト運航の削減など、皆さんの日頃の努力が実を結んだものと評価し、感謝しています。引き続き努力を重ね、ぜひ対外発表の業績予想数値を上回る結果を出せるように頑張りましょう。

グループとしての力の結集を

中期経営計画のスローガンは、皆さんご存じのとおり「Unite & Full Ahead! II」です。このスローガンには、前の中期経営計画「Unite & Full Ahead!」をさらに進化させ、NSU グループとしての力を結集し、新たな発展に向けて頑張ろうという思いが込められています。

昨年 2 月には NS ユナイテッドマリンの機能・組織を見直し、5 月からはフィリピンでのマンニング会社・船舶管理会社の機能整理も実現いたしました。また内航会社の名称も NS ユナイテッド内航海運、NS ユナイテッドタンカーに変更し、より連携を密にできるように会議体の運営なども見直しています。

今後、営業・船舶管理など業務全般を通じて、グループとしての力を遺憾なく発揮できるようにしていきたいと考えていますので、皆さんもそうした気持ちで業務に取り組まれるようお願い致します。

安全・安定運航をベースにビジネスを拡大

先ほど「安定的に成長できるように」と申し上げましたが、「安定」という意味では、現在お付き合いさせていただいているお客様とのビジネスを、より強固で確実なものとするのが大事です。お客様のニーズの変化を先取りして、あるいは改善アイデアを提案して、従来からのビジネスを確実なものとするとともに、少しでも増やせるように努力していただきたいと思います。

また「成長」という意味では、新たなお客様との取引を開始・継続できるように、頑張ってくださいと思います。新たなお客様、新たなビジネスはすぐにできるものではありません。無駄と思われるような努力を積み重ね、足しげく訪問することによって、口座が開かれ、短いビジネスを積み重ね、信頼を得て、やっと長いビジネスもできるというものです。

一人の力では、あるいは一部門の力ではできないものも多いと思います。営業部門間の連携に加え、海外事務所、船舶管理部門、あるいは内航会社も含めて、グループ全体としての総合力で伸びていきたいと考えています。当社の強みとして、大型船から小型船まで幅広い船型のビジネスを、一つの会社として推進できるという点があります。この強みをさらに伸ばすことをぜひ考え実行してください。このためには、日頃の「報告」「連絡」「相談」を密にして、職場内・組織間のコミュニケーションを円滑に行っていくことが大事です。とりわけ管理職の方々におかれては、視野を広く持って、職場内・他部門との連携を密にするように努めてください。

また、常日頃ということでは、ビジネスを伸ばす前提は、毎日の安全・安定運航であることを再認識する必要があります。オペレーターとしての船を動かし管理する力が基礎となり、マーケットでの評価となります。今年度の当社管理船の不稼働時間は、11月までで120時間弱と、過去数年に比べ少なかったと評価していますが、ゼロ時間達成に向けて今後とも努力していただきたいと思います。安全・安定運航は企業理念にも明記されていますが、ぜひ基本・マニュアルを遵守して、事故・トラブルゼロを達成していただきたく、改めてお願い致します。

変化を先取りし、より良い成長の年に

海運マーケットは低迷していると冒頭申し上げましたが、鉄鉱石価格、石炭価格、昨年秋口からは原油価格が大きく下がっています。為替レートは昨年一貫して円安に動きました。マーケットは予測がつかないものであり、今後も不透明であるとしか言いようがありません。

世界の経済は、昨年は米国が好況を維持し、中国が成長率を落とし始めました。欧州やロシア、あるいはブラジルをはじめとする中南米諸国は、全般的に不調であったと評価されています。政治的にはウクライナをめぐるロシアへの制裁が続いており、中東は混迷の度合いを深めています。

当たり前のことですが、世の中は常に動いています。今年2015年も、エネルギー・資源価格は乱高下し、政治の世界も変化し続けると思います。中国の鉄鋼生産の伸びも鈍化し、鉄鉱石輸入量の伸びも鈍化すると言われていています。われわれにとって追い風であった円安もそろそろ止まるのではとの予測もあります。

われわれは常にこうした変化を先取りしていかなければなりません。変わらない事実として世界の人口は既に72億人であり、今後もしばらくの間東南アジア・インド・アフリカに続く地域の人口が増え続けることは確実視されています。人口が増えれば経済活動は拡大し、世界の貿易・物流は増えます。海運業全体としては需要が伸び、われわれのビジネスチャンスも広がります。

2015年は、海運市況をはじめ厳しい環境が続くかもしれませんが、しっかりと前を向いて、今年をよりよい成長の年に致しましょう。私もうまくいきますので、皆さんもそれぞれのポジションでアイデアを出して、「プラスα」の仕事を達成するように努力してください。

以上が私からのごあいさつです。最後になりますが、航海の安全と、皆さま並びにご家族のご健勝とご多幸を、心から祈念致します。